

【研究概要】

重症収縮性心不全の治療において強心薬の使用は必要不可欠であるが、従来の強心薬は細胞内カルシウム動態を増強させるため、不整脈、虚血、突然死などの副作用が懸念されている。カルシウム動態に影響せずに心筋収縮性を増強できる新規強心薬は、より安全に重症心不全の血行動態を安定させ、さらに ADL および予後を完全できるか可能性が高く、その適応範囲は大きいと考えられる。本研究では、直接的に心筋サルコメアを活性化できる新規強心薬の開発を目指す。